

報告事項 ク

「ケータイ・インターネットとのつきあい方フォーラム」実施結果について

「ケータイ・インターネットとのつきあい方フォーラム」の実施結果について、別紙のとおり報告します。

平成20年9月9日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

「ケータイ・インターネットとのつきあい方フォーラム」の実施結果について

家庭・地域教育課

1 趣 旨

ケータイ（インターネット端末としての携帯電話）・インターネットは、日常生活や仕事に欠かせないツールとなっているが、その一方で、迷惑メールなどのトラブルや犯罪、違法有害情報の氾らん、書き込みによる人権侵害など、深刻な社会問題となっている。

平成17年度から3年間開催してきた「メディアとの接し方フォーラム」を本年度は青少年育成鳥取県民会議と共同で実施した。

2 概 要

(1) 期 日

平成20年8月24日（日） 午後1時から午後4時30分

(2) 会 場

米子市淀江文化センター（さなめホール）

(3) 内 容（開催テーマ：～ケータイ・インターネットとのつきあい方～）

【パネルディスカッション】

コーディネータ

ケータイ・インターネット教育啓発推進協議会長会長 山岸正明

パネリスト

ケータイ・インターネット教育推進員 中井浩さん

鳥取県PTA協議会環境対策委員長 石田昭博さん

鳥取県立鳥取湖陵高等学校 中林正樹さん

鳥取県立米子東高等学校 3名

米子市立淀江中学校 3名

中高生の意見

- ・安全に使えばいい。自分が気を付けて、無料のサイトに気を付ける。
- ・親がケータイの危険性を教えてくれる。危険性は知っているきちんと使えば良い。
- ・高校生のほとんどは持っていて、繋がっているという安心感がある。
- ・緊急の確認・連絡、音楽プレイヤーとして利用して、電話機能を使用しないで、メール機能を利用している。人に流されて使うのではなく、しっかりと使う。
- ・メールでのコミュニケーションの大切さ、危険性を感じている。使い方を理解してから携帯を利用した方がよい。



建て前的な部分もあったが、大人と子どもが意見交換できたことはフォーラムの目的からして有意義であった。ケータイを持つことに肯定的な子どもたちと条件を付ける必要性を論ずる大人という構図で進んだが、会場との意見交換も有効であった。

【事例報告】

- ①「ケータイ・インターネットとのつきあい方学習会」報告
(NPO 法人子ども未来ネットワーク) 渡部万里子さん
- ②「保護者として、今のケータイと子どもとの関係をどう捉えているか」
(小中学生のこどもを持つ保護者代表) 今度珠美さん
- ③「サイバー犯罪の現状と対策」
(鳥取県警察本部サイバー犯罪対策室) 松田浩さん
- ④「鳥取県の現状と課題」(県教育委員会事務局) 福田範史



子どもたちと保護者の意識にずれがあり、所持率の増加や使用方法において、今後様々な問題が発生する危険性が明らかになった。学習会の開催要望は非常に多く、全国的な事件事故の発生状況を勘案すると、教育現場での展開が必要である。

【学習・体験コーナー】

＜学習・体験コーナー＞イベントホール

- ・ケータイブース (docomo, KDDI, SoftBank, ネットスター)
- ・フィルタリングブース (アルプスシステム、デジタルアーツ)
- ・パソコンブース (セコム山陰、H.A.L、Sky 株式会社)
- ・啓発ブース (NPO 法人子ども未来ネットワーク、鳥取県警)

＜相談コーナー＞第2会議室

- ・トラブル相談コーナー (鳥取県警、消費生活センター、法テラス)



保護者や地域への啓発内容の展示と実際の携帯電話やフィルタリングシステムの体験コーナー等により、販売方法まで含めた子どもたちを取り巻く状況を具体的に示すことができた。

(4) 参加者数 250名

(県民一般、青少年育成団体関係者、民生児童委員、保護司、教職員、PTA関係者など)

3 フォーラムの成果

子どもたちがケータイ・インターネットをどう捉え、その危険性や利便性のバランスをどのように取っているかを明らかにすることができ、ケータイ・インターネットを含めたメディアとの正しい接し方について考える良い機会となった。

また、県民会議と共催することにより、家庭・学校だけでなく、地域全体で、今後取り組むべき方向性について確認し合うことができた。

4 フォーラム参加者のアンケート結果と主な意見

(1) アンケート結果

肯定的75.9% (たいへん良い、良い)、否定的24.1% (やや物足りない、物足りない)

(2) 参加者からの主な意見

○内容について

- ・ 中高生の発表内容を聞いて頼もしく思えた。ただ携帯の中身をどこまで知り得ているかは判らない。指先の動作で誤って有害サイトのボタンに触れることもあり、有害サイトへの好奇心が芽生えてくることも考えられる。持つ時の話し合いを十分に実施しいつも初心を忘れずに取り扱いをするようにと願っています。将来の人生を有意義なものにするよう、注意を喚起してほしい。
- ・ パネルディスカッションは良かったと思うが、もっと議論をしたほうがよい。会場の意見は必要ない。事例報告は2題くらいでよい (忙しすぎ)。
- ・ パネルディスカッションに、中高生が参加していたことは、とても大きく評価できるが、本音と建前が見えかくれしていたし、あまりにもいい子すぎた。(それこそ、学校が、フィルタリングしていたのかも) 今の中高生の本音はパネラーの口から話されたと思えないのが、残念。これで、このフォーラムが、良かったと判断しては、非常に危険ですが、中高生に迫っていくのは、今後続けてください。
- ・ 体験コーナーなど時間がなく見れないものがある。(4)～(6)をもう少し力を入れたらよいのでは。
- ・ 便利さはよく分かっている。犯罪性も分かる。もう一つ大切なこととしてゲーム機などと同じく、ケータイを持つことで、便利さにひたすることで、逆に予定をたてること、約束を守ること、見えない相手をイメージすること等、人間性に悪影響があることを重視してほしい。夜中に次の日の部活の連絡などさせるな。

○運営について

- ・ 内容はとてもよかったですと思いますが、参加者が少なかったのが残念でした。県民大会と呼ぶには少しさみしいきがしました。多くの人が、関心のあるケータイ・インターネットです。もっと多くの方々に話を聞いてもらいたかったです。
- ・ 開会行事表彰が終わるまでは、県民会議の方が司会をするべきだと思う。県民会議の主体性のない会になってしまったのではないかと思います。
- ・ 参加者が少なすぎる。もっと多くの人参加手段を考える必要がある。